

「水土を守る人々」では、農業や農業用水の役割とこれらが持つ多面的機能等が十全に発揮されていくために、農業水利施設等の維持管理を支える人々の日常にスポットを当てて、その取り組みを紹介することで、農業農村整備や多面的機能の発揮が「人」の支えの上に成り立っていることを伝えていきます。
※不定期で掲載いたします。

秋津飯野地域における多面的機能保全活動について

～秋津飯野土地改良区 竹中宏豊 氏～

熊本県熊本市

1. 秋津飯野地区農家のために

今回「水土を守る人々」で紹介するのは、熊本県熊本市中心街から南東へ約8km離れ、北に秋津川、南に木山川に挟まれた平坦な水田地帯に位置する秋津飯野土地改良区の職員として、地域資源の保全管理と環境の保全を図ることを目的に、農業の多面的機能の維持・発展のための地域活動や営農活動を推進している、竹中宏豊さんである。

本地区は、昭和55年度から平成4年度にかけて実施されたほ場整備事業を契機に、大豆・麦の作付けや、青年部を中心とした小玉スイカ、ミニトマト、アスパラ、花卉などの施設園芸を行っている。そのうち大豆は、ブロックローテーションで作付けし、県内でもトップクラスの生産量を誇っている。

竹中さんは秋津飯野土地改良区唯一の職員として地区面積約200haの用水・排水等の管理等を行っており、事務から施設の維持管理までの全てを行わなければならない、最初は大変苦勞したという。

そんな竹中さんが土地改良区の職員になったきっかけは、元々組合員として農業を行っていた20代中頃に、前の職員の引退に伴い、後任として誘われたためで、秋津飯野地区のためになると引き受けたとのこと。竹中さんは、「いざ引き受けた方がいいが、詳細な引継ぎもなく当初は土地改



ほ場整備事業完了記念石



竹中宏豊さん

良区というのがどんな仕事をしているのかもわからず戸惑いも多かった。そして、組合員の方から時に厳しく怒られながらも、色々教えてもらったことを今でも鮮明に覚えている。最近、熊本県内において、全国でも珍しい土地改良区の事務職員間の連絡協議会が出来たことで、研修等の機会も多くなり、県内の各改良区とともに連携を図ることができて、相談仲間が多くなり心強い。土地改良区に入ったばかりの頃は、他の土地改良区に何かを聞いたりするなんて考えられなかったが、今は横のつながりのネットワークに助けられている。」と懐かしそうに優しい笑顔で話してくれた。

2. 家族や仲間とともに

竹中さんは、職員が一人しかいないため、スケジュール管理は、ある程度自由に調整出来るが、時期によっては休みが取れず、代わりがないことが悩みと話す。インフルエンザにかかっても出勤されたことがあり、このときは職員一人体制の辛さを身をもって痛感されたとのこと。

竹中さんは「家族は土地改良区職員としての仕事を理解しているが、施設の管理でつきっきりとなる夏休みの時期は、子供たちを遠くへ遊びに連れて行くことが出来ずに申し訳ないと思っている。だが、一緒に近くの田や畑に行き、水路で小魚やザリガニ採取など自然の中で遊ぶ時間を作っており、それはそれでよかったと思っている。」とさっぱりした口調で語ってくれた。

また、土地改良区の組合員の20代～40代で構成している秋津青年部は、竹中さんを含め17名おり、農家の後継者仲間として竹中さんの良き相談相手になっている。この青年部は、竹中さんが呼びかけ、先輩農家の尽力により設立された。今後の土地改良区の中心的役割を担うとともに、当地区での新規就農者の受け皿にもなっている。

3. 多面的機能支払交付金の活用

本地区は、平成18年度に最初の農地・水・農村環境保全向上活動支援実験事業のモデルとなった地区である。平成19年度の制度導入に向けて、施策の実効性を検証するため、地域の方々と勉強会などを開くなど大変な苦労を経て、平成19年度から本格的にスタートした。活動組織の事務を土地改良区が担い、構成員の負担軽減に配慮しつつ、様々な活動



レンゲ祭り（農作物販売の様子）

に積極的に取り組んでもらっており、地域の非農家も含めて協力的とのこと。竹中さんいわく「土地改良区が中心となって活動しなければ、事業効果を出すことは難しいと考え、責任をもって活動に取り組んでいる。本活動を通じて、営農組合・JA・改良区が協力するきっかけともなり、組合員同士の横の連携ができた。」とのこと。主導する活動の一つにレンゲ祭りがある。交付金を活用した景観形成を目的として、毎年、稲刈り後の水田約40haに、レンゲの種をまき、花が満開となる4月下旬頃に開催しており、今年で9年目を迎えた。昨年は約600～700人もの人が訪れた。

このレンゲ祭りは、秋津のすばらしい農業やほ場整備の効率を地域の方にもっと知ってもらうことを目的に、水田整備で可能となった畑作物の小麦、大豆等を使用したピザや豆腐等を販売している。

今年の開催は、4月23日（土）を予定しているとのこと、読者の方々も是非、会場を訪れてみてはいかがか。

多面的機能支払交付金の活動は、用排水路等の維持管理の面で土地改良区のサポートとして、また、様々な活動を通じて地域のコミュニティ形成に貢献している。

竹中さんは、「今後は土地改良区が、農業の繁栄と共に農村コミュニティの中心的存在となるべき責任があると考えている。そのためにも、仲間と協力し、地域貢献に頑張っていきたい。」と熱く語っていただいた。

職員一人の土地改良区ではあるが、今後も多くの仲間と協力して活躍されることを祈念し、ご紹介させていただいた。



レンゲ祭り（田園風景）

【九州農政局農村振興部設計課】